

平成19年度 事務事業評価表

所属 28220000

教育委員会 葛飾図書館

事務事業	196401 維持管理（図書館）						
	事業区分	経常事業	施策体系	1964	図書サービス		
区分	評価者	所管課長	存廃判断	可	NPO協働	可	
	***		***		***		
対象	区民43万 区内在学・在勤者及び隣接区市住民は利用登録が可能						
事務事業意図	<ul style="list-style-type: none"> ・快適で、利便性の高い図書館施設を維持し、区民の読書活動を始めとする生涯学習環境を整備する。 ・学習や生活に必要な資料や情報、豊かな余暇を過ごすための図書資料等を、区民誰もが自由に入手できるよう図書館サービスを行う。 						
事務事業手段	昭和24年事業開始・区立図書館10館の施設維持管理（中央館1・地域館6・地区館3） 開館時間 中央館一般室 月～土 9:00～20:00 日・祝9:00～17:00 児童室 日～金・祝9:00～17:00 土 9:00～20:00 地域館一般室 火～土 9:00～20:00 日・祝9:00～17:00 児童室 9:00～17:00 地区館 火～木・土・日 10:00～17:00 金10:00～20:00 休館日 月曜日（祝日の場合は翌日ただし中央館を除く） ・館内整理日（第4木曜）・年末年始・特別整理期間（年1回、各館4日間程度、地区館は2日間程度） 地区館は、祝日も休館となる						
根拠法令	図書館法・葛飾図書館設置条例						
現状と課題	読書を通じて心の豊かさを求め、学習や生活に必要な資料や情報を入手できる生涯学習施設として重要な役割を果たしてきた。IT（情報技術）の進歩、経済、産業構造の変化、少子高齢社会の進展などにより、区民のライフスタイルやニーズは多様化しており、今後も様々な層の利用者に応じた図書館サービスを充実していく必要がある。						
成果・活動指標	成果1：貸出者数 成果2：来館者数（葛飾図書館より推計） 活動1：開館日数（10館分延べ日数）						
目標達成状況	成果指標1 [人]	予定	平成17年度	平成18年度	平成19年度		
		実績	830,000.00	850,000.00	890,000.00		
	成果指標2 [人]	予定	1,650,000.00	1,700,000.00	1,800,000.00		
		実績	2,010,960.00	1,767,728.00			
	活動指標1 [日]	予定	2,830.00	2,936.00	2,970.00		
		実績	2,876.00	2,926.00			
	活動指標2 []	予定					
		実績					
	トータルコスト (千円)	予定		219,431	221,543		
		実績	206,966	207,992			
総合評価	継続。図書館は、子どもから高齢者、障害者を含む全ての区民が利用できる重要な生涯学習施設であるため、誰でもが気軽に利用し易い施設とし、又IT化を推進し、サービスの向上や運営方法の見直しを図りながら事務事業を継続していく必要がある。						
事業評価	事業の必要性	はい。図書館は、住民の身近にある学習や生活文化活動を支援する極めて重要な社会教育施設である、区が実施すべき事業である。					
	民間活用	実施済。既に維持管理の大部分の業務を民間に委託している。					
	成果向上余地	はい。清掃・設備保守・警備等の維持管理業務全体を一体的に委託等する事で成果向上の余地はある。					
	経費削減余地	はい。維持管理全体の一括発注などにより、経費削減の余地はある。					

コスト分析表

年 度 平成19年度

所 属 28220000

事務事業 196401

教育委員会 葛飾図書館

維持管理（図書館）

事業期間 平成17年度 ~ 平成19年度

(単位：千円)

		NO	平成17年度	平成18年度	平成19年度			
予 定	財源内訳	国庫支出金	(1)		0	0		
		都道府県支出金	(2)		0	0		
		地方債	(3)		0	0		
		その他	(4)		3,240	3,173		
		一般財源	(5)		180,117	182,816		
	直接費	事業費	(6)		160,737	163,629		
	職員人件費	人件費	(7)		22,620	22,360		
		再雇用職員分	(8)		0	0		
		(職員数：賦課)	(9)		2.60	2.60		
		(職員数：配賦)	(10)					
		職員数合計(9)+(10)	(11)		2.60	2.60		
	間接費	(12)		0	0			
	調整額	(加算)減価償却費	(13)		33,047	33,047		
		(加算)金利	(14)		687	687		
		(加算)退職給与引当	(15)		2,340	1,820		
		(控除)コスト対象外	(16)		0	0		
		(控除)雑収入	(17)		0	0		
	調整額計 (13)+(14)+(15)-(16)-(17)	(18)		36,074	35,554			
	トータルコスト (6)+(7)+(8)+(12)+(18)	(19)		219,431	221,543			
実 績	財源内訳	国庫支出金	(20)	0	0			
		都道府県支出金	(21)	0	0			
		地方債	(22)	0	0			
		その他	(23)	3,143	3,020			
		一般財源	(24)	166,868	169,418			
	直接費	事業費	(25)	148,431	150,858			
	職員人件費	人件費	(26)	21,580	21,580			
		再雇用職員分	(27)	0	0			
		(職員数：賦課)	(28)	2.60	2.60			
		(職員数：配賦)	(29)					
		職員数合計(28)+(29)	(30)	2.60	2.60			
	間接費	(31)	0	0				
	調整額	(加算)減価償却費	(32)	33,047	33,047			
		(加算)金利	(33)	1,568	687			
		(加算)退職給与引当	(34)	2,340	1,820			
		(控除)コスト対象外	(35)	0	0			
		(控除)雑収入	(36)	0	0			
	調整額計 (32)+(33)+(34)-(35)-(36)	(37)	36,955	35,554				
	トータルコスト (25)+(26)+(27)+(31)+(37)	(38)	206,966	207,992				

平成19年度 事務事業評価表

所属 28220000

教育委員会 葛飾図書館

事務事業	196405 視聴覚ライブラリー（16ミリ映写機貸出、点検）					
	事業区分	経常事業	施策体系	1964	図書サービス	
区分	評価者	所管課長	存廃判断	可	NPO協働	可
	***		***		***	
対象	視聴覚機材（16ミリ映写機等）・教材（16ミリフィルム）を利用する個人・団体					
事務事業意図	視聴覚教材の利用を通して学習の機会を提供する。					
事務事業手段	昭和43年度事業開始 ・登録検定証明書の交付 届け出のある団体の所有する16ミリ発声映写機について、フィルムの損傷のおそれがないかの検査を実施（東京都16ミリ発声映写機指導員に依頼）、おそれがない映写機については「16ミリ発声映写機検定証明書」を交付している。（検査は毎年2月頃実施） ・視聴覚機材・教材の貸出し					
根拠法令	16ミリ発声映写機に関する規則、葛飾区視聴覚ライブラリーに関する規則					
現状と課題	ビデオ・DVD・プロジェクターなど多様な媒体・機器が普及してきているなかで、検定登録の必要な16ミリ発声映写機やフィルムの利用は減少傾向にある。16ミリフィルムは、映像情報の貴重な資料であり、保存・活用方法を東京都視聴覚ライブラリーと連携をとり、縮小・廃止方向での検討の必要がある。					
成果・活動指標	成果1：利用団体数 成果2：1団体当たりの機材・教材利用回数（機材・教材貸出数÷利用団体数） 活動1：年間機材・教材貸出数					
目標達成状況			平成17年度	平成18年度	平成19年度	
	成果指標1 [団体]	予定	40.00	30.00	40.00	
		実績	27.00	22.00		
	成果指標2 [回]	予定	4.00	3.50	4.50	
		実績	3.50	4.50		
	活動指標1 [件]	予定	120.00	100.00	120.00	
		実績	95.00	99.00		
	活動指標2 []	予定				
		実績				
	トータルコスト (千円)	予定		1,013	983	
実績		973	953			
総合評価	縮小。機器・フィルムともに高価であることと、新しいフィルムの出版が少ないため購入につながらず、発展性がない。しかし、現有の機器・フィルムについては、保存・活用方法を検討する必要がある。					
事業評価	事業の必要性	はい。都区市町村の視聴覚ライブラリーを整備し、学習の機会を充実するため、都区市町村が連携して、16ミリ教材の活用を図ることを目的としている。				
	民間活用	実施困難。総事業量が少ないため、民間活用の余地は少ない。				
	成果向上余地	いいえ。16ミリ機器、フィルムは高価で、新作の出版が少ないことから、今後さらに効果を上げる余地はない。手軽で安値なDVD等を充実することで、より幅広い学習教材の提供が可能となる。				
	経費削減余地	はい。映写機の登録検定員の内部職員養成等、工夫を行う。				

コスト分析表

年 度 平成19年度

所 属 28220000

事務事業 196405

教育委員会 葛飾図書館

視聴覚ライブラリー（16ミリ映写機貸出、点検）

事業期間 平成17年度 ~ 平成19年度

(単位：千円)

		NO	平成17年度	平成18年度	平成19年度			
予 定	財源内訳	国庫支出金	(1)		0	0		
		都道府県支出金	(2)		0	0		
		地方債	(3)		0	0		
		その他	(4)		0	0		
		一般財源	(5)		923	913		
	直接費	事業費	(6)		53	53		
	職員人件費	人件費	(7)		870	860		
		再雇用職員分	(8)		0	0		
		(職員数：賦課)	(9)		0.10	0.10		
		(職員数：配賦)	(10)			0.00		
		職員数合計(9)+(10)	(11)		0.10	0.10		
	調整額	間接費	(12)		0	0		
		(加算)減価償却費	(13)		0	0		
		(加算)金利	(14)		0	0		
		(加算)退職給与引当	(15)		90	70		
		(控除)コスト対象外	(16)		0	0		
		(控除)雑収入	(17)		0	0		
	調整額計 (13)+(14)+(15)-(16)-(17)	(18)		90	70			
	トータルコスト (6)+(7)+(8)+(12)+(18)	(19)			1,013	983		
実 績	財源内訳	国庫支出金	(20)	0	0			
		都道府県支出金	(21)	0	0			
		地方債	(22)	0	0			
		その他	(23)	0	0			
		一般財源	(24)	883	883			
	直接費	事業費	(25)	53	53			
	職員人件費	人件費	(26)	830	830			
		再雇用職員分	(27)	0	0			
		(職員数：賦課)	(28)	0.10	0.10			
		(職員数：配賦)	(29)					
		職員数合計(28)+(29)	(30)	0.10	0.10			
	調整額	間接費	(31)	0	0			
		(加算)減価償却費	(32)	0	0			
		(加算)金利	(33)	0	0			
		(加算)退職給与引当	(34)	90	70			
		(控除)コスト対象外	(35)	0	0			
		(控除)雑収入	(36)	0	0			
	調整額計 (32)+(33)+(34)-(35)-(36)	(37)	90	70				
	トータルコスト (25)+(26)+(27)+(31)+(37)	(38)	973	953				

平成19年度 事務事業評価表

所属 28220000

教育委員会 葛飾図書館

事務事業	196406 啓発事業（図書館）					
	事業区分	経常事業	施策体系	1964	図書サービス	
区分	評価者	所管課長	存廃判断	可	NPO協働	可
	***		***		***	
対象	区民、区内在学・在勤者及び隣接区市住民 区民43万人					
事務事業意図	多様な学習機会を提供することにより図書館利用に結びつける。特に子どもたちには、本と出会う場を多く持つことによって、読書の楽しみを知り、豊かな人間性を育むことにつながる。					
事務事業手段	昭和42年度事業開始 ・開催行事 講演会 映画会 こども映画会 お話会 一日図書館員 園・学級招待 読み聞かせ会 施設訪問 図書館見学 小・中学生職場体験 新任教諭他職場研修 子ども読書の日記念お話会 小さい子向けお話会 ブックスタート事業 ク リスマス会 七夕かざりを作るう等					
根拠法令	図書館法・葛飾図書館設置条例					
現状と課題	子供向け事業は、参加者の増加を見ているが、一般向けの事業の参加者は衰退をしている。映画会は、LDを使用しているが、新規の購入はしていないし、館内上映の権利もないため検討を要する。					
成果・活動指標	成果1：一般行事参加率（参加人数÷中学生以上人口×100） 成果2：小学生以下対象行事参加率（参加人数÷小学生以下人口×100） 活動1：年間行事回数（講演会1回 映画会77回 子ども映画会等1683回） 活動2：小学生以下年間行事回数（子ども映画会等1683回）					
目標達成状況	成果指標1 [%]	予定	平成17年度	平成18年度	平成19年度	
		実績	0.90	1.00	1.00	
	成果指標2 [%]	予定	52.00	55.00	100.00	
		実績	0.64	0.69		
	活動指標1 [回]	予定	1,400.00	1,450.00	1,800.00	
		実績	75.49	92.20		
	活動指標2 [回]	予定	1,300.00	1,350.00	1,700.00	
		実績	1,612.00	1,761.00		
	トータルコスト (千円)	予定		77,566	75,258	
		実績		77,566	75,258	
総合評価	継続。図書館の利用を促進するための手段として有効であり、特に児童・生徒は、調べ学習・体験学習をはじめ、豊かな人間性を育む読書へのきっかけとしている。					
事業評価	事業の必要性	はい。図書館が住民の身近にあって、学習活動を支援する社会教育施設であることの理解を図るための事業として、区が積極的に取り組む必要がある。				
	民間活用	実施困難。事業の計画立案は、図書館サービスの基幹であり、区が実施すべきである。				
	成果向上余地	はい。図書館の利用に結びつく事業を行い、利用の増加を図る。読み聞かせ等の事業にボランティアの活用を積極的に図る。				
	経費削減余地	はい。読み聞かせ講習会の受講生を対象にボランティアの養成を図り活用する。				

コスト分析表

年 度 平成19年度

所 属 28220000

事務事業 196406

教育委員会 葛飾図書館

啓発事業（図書館）

事業期間 平成17年度 ~ 平成19年度

(単位：千円)

		NO	平成17年度	平成18年度	平成19年度			
予 定	財源内訳	国庫支出金	(1)		0	0		
		都道府県支出金	(2)		0	0		
		地方債	(3)		0	0		
		その他	(4)		0	0		
		一般財源	(5)		70,366	69,658		
	直接費	事業費	(6)		766	858		
	職員人件費	人件費	(7)		69,600	68,800		
		再雇用職員分	(8)		0	0		
		(職員数：賦課)	(9)		8.00	8.00		
		(職員数：配賦)	(10)					
		職員数合計(9)+(10)	(11)		8.00	8.00		
	調整額	間接費	(12)		0	0		
		(加算)減価償却費	(13)		0	0		
		(加算)金利	(14)		0	0		
		(加算)退職給与引当	(15)		7,200	5,600		
		(控除)コスト対象外	(16)		0	0		
		(控除)雑収入	(17)		0	0		
	調整額計 (13)+(14)+(15)-(16)-(17)	(18)		7,200	5,600			
	トータルコスト (6)+(7)+(8)+(12)+(18)	(19)		77,566	75,258			
実 績	財源内訳	国庫支出金	(20)	0	0			
		都道府県支出金	(21)	0	0			
		地方債	(22)	0	0			
		その他	(23)	0	0			
		一般財源	(24)	54,229	67,298			
	直接費	事業費	(25)	299	898			
	職員人件費	人件費	(26)	58,930	66,400			
		再雇用職員分	(27)	0	0			
		(職員数：賦課)	(28)	7.10	8.00			
		(職員数：配賦)	(29)					
		職員数合計(28)+(29)	(30)	7.10	8.00			
	調整額	間接費	(31)	0	0			
		(加算)減価償却費	(32)	0	0			
		(加算)金利	(33)	0	0			
		(加算)退職給与引当	(34)	6,390	5,600			
		(控除)コスト対象外	(35)	0	0			
		(控除)雑収入	(36)	0	0			
	調整額計 (32)+(33)+(34)-(35)-(36)	(37)	6,390	5,600				
	トータルコスト (25)+(26)+(27)+(31)+(37)	(38)	65,619	72,898				

平成19年度 事務事業評価表

所属 28220000

教育委員会 葛飾図書館

事務事業	196407 ボランティア育成事業（図書館）					
	事業区分	経常事業	施策体系	1964	図書サービス	
区分	評価者	所管課長	存廃判断	可	NPO協働	可
	***		***		***	
対象	区内在住で、ボランティアとして活動できる方					
事務事業意図	障害のある人への音訳サービス、対面朗読サービスを行えるよう養成する。 障害者サービス（対面朗読・点訳など）の実施					
事務事業手段	昭和47年度事業開始 音訳ボランティア養成講座の初級・中級講座を隔年ごとに1回開催。 障害者サービスの実施					
根拠法令	図書館法・葛飾図書館設置条例					
現状と課題	ボランティアの育成、技術向上のための講習会を実施しているが、障害者向けの媒体がカセットテープからCD-ROM（デージー）へと変わってきており機器を用意することが必要である。					
成果・活動指標	成果1：対面朗読回数 成果2：障害者サービス利用回数（宅配・郵送件数） 活動1：対面朗読受講者数 活動2：音訳宅配・郵送利用者数					
目標達成状況	成果指標1 [回]	予定	平成17年度	平成18年度	平成19年度	
		実績	240.00	240.00	240.00	
	成果指標2 [回]	予定	240.00	240.00	240.00	
		実績	198.00	204.00		
	活動指標1 [人]	予定	870.00	870.00	870.00	
		実績	402.00	885.00		
	活動指標2 [人]	予定	25.00	25.00	70.00	
		実績	23.00	65.00		
	トータルコスト (千円)	予定	250.00	250.00	350.00	
		実績	250.00	315.00		
総合評価	拡充		5,904	5,733		
	実績	5,276	5,303			
事業評価	事業の必要性	はい。障害者や高齢者などへの公平な図書サービスを提供するためのボランティア育成は必要であることから、区が実施すべきである。				
	民間活用	実施困難。ボランティアの育成や地域との連携は区が直接実施すべきである。				
	成果向上余地	はい。ボランティアとして活躍している人やボランティア団体との連携を進めるほか、利用についてのPRに努めることで、より効果を上げることができる。				
	経費削減余地	はい。ボランティアの育成を積極的に進め、養成講座の運営についてボランティア団体が担えるようにすることで、職員の量を削減できると思われることから、コストを下げる余地はある。18下半年より地域生活支援事業の国庫補助対象（障害福祉課で一括歳入）				

コスト分析表

年 度 平成19年度

所 属 28220000

事務事業 196407

教育委員会 葛飾図書館

ボランティア育成事業(図書館)

事業期間 平成17年度 ~ 平成19年度

(単位：千円)

		NO	平成17年度	平成18年度	平成19年度			
予 定	財源内訳	国庫支出金	(1)		0	0		
		都道府県支出金	(2)		0	0		
		地方債	(3)		0	0		
		その他	(4)		0	0		
		一般財源	(5)		5,454	5,383		
	直接費	事業費	(6)		1,104	1,083		
	職員人件費	人件費	(7)		4,350	4,300		
		再雇用職員分	(8)		0	0		
		(職員数:賦課)	(9)		0.50	0.50		
		(職員数:配賦)	(10)					
		職員数合計(9)+(10)	(11)		0.50	0.50		
	調整額	間接費	(12)		0	0		
		(加算)減価償却費	(13)		0	0		
		(加算)金利	(14)		0	0		
		(加算)退職給与引当	(15)		450	350		
		(控除)コスト対象外	(16)		0	0		
		(控除)雑収入	(17)		0	0		
	調整額計 (13)+(14)+(15)-(16)-(17)	(18)		450	350			
	トータルコスト (6)+(7)+(8)+(12)+(18)	(19)		5,904	5,733			
実 績	財源内訳	国庫支出金	(20)	0	0			
		都道府県支出金	(21)	0	0			
		地方債	(22)	0	0			
		その他	(23)	0	0			
		一般財源	(24)	4,826	4,953			
	直接費	事業費	(25)	676	803			
	職員人件費	人件費	(26)	4,150	4,150			
		再雇用職員分	(27)	0	0			
		(職員数:賦課)	(28)	0.50	0.50			
		(職員数:配賦)	(29)					
		職員数合計(28)+(29)	(30)	0.50	0.50			
	調整額	間接費	(31)	0	0			
		(加算)減価償却費	(32)	0	0			
		(加算)金利	(33)	0	0			
		(加算)退職給与引当	(34)	450	350			
		(控除)コスト対象外	(35)	0	0			
		(控除)雑収入	(36)	0	0			
	調整額計 (32)+(33)+(34)-(35)-(36)	(37)	450	350				
	トータルコスト (25)+(26)+(27)+(31)+(37)	(38)	5,276	5,303				

平成19年度 事務事業評価表

所属 28220000

教育委員会 葛飾図書館

事務事業	196408 オンラインサービス（ITを活用した図書館サービス）					
	事業区分	経常事業	施策体系	1964	図書館サービス	
区分	評価者	外部委員会	存廃判断	可	NPO協働	可
	***		***		***	
対象	図書館利用登録者及びその他					
事務事業意図	利用者が、開館時間・場所にとらわれず図書館の資料を検索・予約できる。					
事務事業手段	<p>昭和63年度事業開始</p> <ul style="list-style-type: none"> 葛飾区立図書館のホームページを開設。（平成16年1月10日付） インターネットによる蔵書検索・予約を可能にした。 平成18年8月にホームページのリニューアルを行った。 レファレンス用にインターネット可能なパソコンを導入している。 利用者が使用できるインターネットを平成19年度現在7館（葛飾・立石・お花茶屋・上小松・亀有・水元・鎌倉）導入した。 					
根拠法令	図書館法・葛飾図書館設置条例					
現状と課題	障害のある方にも利用できるシステムに向けて改善する必要がある。また、内容についても興味を持ってもらえる魅力のあるホームページにする。子ども（小・中高生）向けのページなど追加項目もあり現在検討中である。					
成果・活動指標	<p>成果1：インターネット利用による予約率（インターネット予約件数÷予約件数×100）</p> <p>成果2：図書館ホームページ・データベースへのアクセス件数</p> <p>活動1：パスワード登録者数</p> <p>活動2：ホームページメニュー項目数</p>					
目標達成状況	成果指標1 [%]	予定	平成17年度 50.00	平成18年度 60.00	平成19年度 60.00	
		実績	53.07	58.13		
	成果指標2 [件]	予定	450,000.00	500,000.00	900,000.00	
		実績	683,391.00	871,140.00		
	活動指標1 [人]	予定	22,000.00	23,000.00	23,000.00	
		実績	22,643.00	18,744.00		
	活動指標2 [個]	予定	18.00	20.00	50.00	
		実績	16.00	43.00		
	トータルコスト (千円)	予定		43,476	44,997	
		実績	41,111	42,468		
総合評価	拡充。ホームページ等の将来構想を明確にするとともに、障害者や子供向けのページを充実させる等、多様なサービスの提供に取り組むべきである。					
事業評価	事業の必要性	はい。ホームページ等へのアクセス数が87万件に達し、インターネットによる予約率が5割を超える等、図書館の資料や情報の検索、予約、貸出状況の確認等が時間や場所にとらわれずに利用されているため、現在のIT社会においては必要なサービスである。				
	民間活用	実施可能。ホームページの作成やシステムの向上のためには、専門的知識を持った民間の力を導入した方が効果的であるため、ホームページ等の基本構想を固め、職員の努力工夫で対応できない部分については、民間を活用する。				
	成果向上余地	はい。ホームページの内容を充実させることで、より効果を上げることができる。特に、障害者や子供向けのページについては、速やかに充実させる必要がある。また、図書資料検索に関する職員の能力向上も必要である。				
	経費削減余地	はい。民間を活用することで経費削減の余地はあるが、委託内容によっては職員が行うよりも割高になる可能性があるため、コスト比較を十分に行った上で検討する必要がある。また、委託する場合はセキュリティの確保等も必要である。				

コスト分析表

年 度 平成19年度

所 属 28220000

事務事業 196408

教育委員会 葛飾図書館

オンラインサービス (ITを活用した図書館サービス)

事業期間 平成17年度 ~ 平成19年度

(単位：千円)

		NO	平成17年度	平成18年度	平成19年度			
予 定	財源内訳	国庫支出金	(1)		0	0		
		都道府県支出金	(2)		0	0		
		地方債	(3)		0	0		
		その他	(4)		0	0		
		一般財源	(5)		42,036	43,877		
	直接費	事業費	(6)		28,116	30,117		
	職員人件費	人件費	(7)		13,920	13,760		
		再雇用職員分	(8)		0	0		
		(職員数：賦課)	(9)		1.60	1.60		
		(職員数：配賦)	(10)			0.00		
		職員数合計(9)+(10)	(11)		1.60	1.60		
	調整額	間接費	(12)		0	0		
		(加算)減価償却費	(13)		0	0		
		(加算)金利	(14)		0	0		
		(加算)退職給与引当	(15)		1,440	1,120		
		(控除)コスト対象外	(16)		0	0		
		(控除)雑収入	(17)		0	0		
	調整額計 (13)+(14)+(15)-(16)-(17)	(18)		1,440	1,120			
	トータルコスト (6)+(7)+(8)+(12)+(18)	(19)			43,476	44,997		
実 績	財源内訳	国庫支出金	(20)	0	0			
		都道府県支出金	(21)	0	0			
		地方債	(22)	0	0			
		その他	(23)	0	0			
		一般財源	(24)	39,401	41,348			
	直接費	事業費	(25)	23,631	28,068			
	職員人件費	人件費	(26)	15,770	13,280			
		再雇用職員分	(27)	0	0			
		(職員数：賦課)	(28)	1.90	1.60			
		(職員数：配賦)	(29)					
		職員数合計(28)+(29)	(30)	1.90	1.60			
	調整額	間接費	(31)	0	0			
		(加算)減価償却費	(32)	0	0			
		(加算)金利	(33)	0	0			
		(加算)退職給与引当	(34)	1,710	1,120			
		(控除)コスト対象外	(35)	0	0			
		(控除)雑収入	(36)	0	0			
	調整額計 (32)+(33)+(34)-(35)-(36)	(37)	1,710	1,120				
	トータルコスト (25)+(26)+(27)+(31)+(37)	(38)	41,111	42,468				

平成19年度 事務事業評価表

所属 28220000
教育委員会 葛飾図書館

事務事業	196409 図書館報等印刷						
	事業区分	経常事業	施策体系	1964	図書サービス		
区分	評価者	所管課長	存廃判断	可	NPO協働	可	
	***		***		***		
対象	区民及び利用者						
事務事業意図	本や図書館行事等を紹介することで、読書欲を高め、一層の図書館利用を促す。						
事務事業手段	昭和43年度事業開始 ・としょかんだよりを年1回10,000部発行 ・ポケットカレンダー(平成16年度は寄贈)を年1回60,000部発行 ・子どもたちの成長段階や、興味に応じた優れた図書を紹介するため推薦リストを発行する。(いちねんせいになったらよんでみよう5,000部・むぎわらぼうし27,000部・Dog-ears 12,000部・ファーストブック15,000部)						
根拠法令	図書館法・葛飾図書館設置条例						
現状と課題	幼児期・新1年生・小中学生向けに図書館推薦の図書を選書してリストを作成し、配布することで、子どもたちや保護者の読書案内や読書活動の推進に役立っている。今後は、図書館と学校との連携のあり方について検討の必要がある。						
成果・活動指標	成果1:1冊当たりの貸出回数(図書貸出冊数÷児童図書数) 目標:21年度2.6回 成果2:むぎわらぼうし・ドッグイアーズ掲載図書の平均貸出回数 活動1:としょかんだより・児童書リスト等発行部数						
目標達成状況	成果指標1 [回]	予定	平成17年度 2.30	平成18年度 2.30	平成19年度 3.00		
		実績	2.31	2.14			
	成果指標2 [回]	予定	30.00	30.00	10.00		
		実績	16.52	7.78			
	活動指標1 [部]	予定	145,000.00	145,000.00	145,000.00		
		実績	133,000.00	121,000.00			
	活動指標2 []	予定					
		実績					
	トータルコスト (千円)	予定		11,569	11,480		
		実績	15,985	10,900			
総合評価	改善。読書に対する関心が高まり、特に子どもの読書活動の推進は今日の大きな社会的課題となっている。その読書活動の中核となる図書館のサービスや資料の情報を提供する「としょかんだより」等の発行についてはいっそうの充実、見直しを行いながら継続していく必要がある。						
事業評価	事業の必要性	はい。図書館の利用促進を図るために、図書資料やサービスの紹介は、区が実施すべきものである。					
	民間活用	実施可能。民間のノウハウや高い印刷技術を活用した方が高い効果を期待できる。					
	成果向上余地	はい。よりタイムリーで読みやすい内容に工夫し、ホームページとも連動するなどの改善を行い、効果を上げることが可能である。					
	経費削減余地	はい。広告掲載や可能な限り変更することでコスト縮減は図れる。					

コスト分析表

年 度 平成19年度

所 属 28220000

事務事業 196409

教育委員会 葛飾図書館

図書館報等印刷

事業期間 平成17年度 ~ 平成19年度

(単位：千円)

		NO	平成17年度	平成18年度	平成19年度			
予 定	財源内訳	国庫支出金	(1)		0	0		
		都道府県支出金	(2)		0	0		
		地方債	(3)		0	0		
		その他	(4)		0	0		
		一般財源	(5)		10,579	10,710		
	直接費	事業費	(6)		1,009	1,250		
	職員人件費	人件費	(7)		9,570	9,460		
		再雇用職員分	(8)		0	0		
		(職員数：賦課)	(9)		1.10	1.10		
		(職員数：配賦)	(10)					
		職員数合計(9)+(10)	(11)		1.10	1.10		
	調整額	間接費	(12)		0	0		
		(加算)減価償却費	(13)		0	0		
		(加算)金利	(14)		0	0		
		(加算)退職給与引当	(15)		990	770		
		(控除)コスト対象外	(16)		0	0		
		(控除)雑収入	(17)		0	0		
	調整額計 (13)+(14)+(15)-(16)-(17)	(18)		990	770			
	トータルコスト (6)+(7)+(8)+(12)+(18)	(19)		11,569	11,480			
実 績	財源内訳	国庫支出金	(20)	0	0			
		都道府県支出金	(21)	0	0			
		地方債	(22)	0	0			
		その他	(23)	0	0			
		一般財源	(24)	14,545	10,130			
	直接費	事業費	(25)	1,265	1,000			
	職員人件費	人件費	(26)	13,280	9,130			
		再雇用職員分	(27)	0	0			
		(職員数：賦課)	(28)	1.60	1.10			
		(職員数：配賦)	(29)					
		職員数合計(28)+(29)	(30)	1.60	1.10			
	調整額	間接費	(31)	0	0			
		(加算)減価償却費	(32)	0	0			
		(加算)金利	(33)	0	0			
		(加算)退職給与引当	(34)	1,440	770			
		(控除)コスト対象外	(35)	0	0			
		(控除)雑収入	(36)	0	0			
	調整額計 (32)+(33)+(34)-(35)-(36)	(37)	1,440	770				
	トータルコスト (25)+(26)+(27)+(31)+(37)	(38)	15,985	10,900				

平成19年度 事務事業評価表

所属 28220000

教育委員会 葛飾図書館

事務事業	196410 図書館建設（新中央図書館の建設）					
	事業区分	経常事業	施策体系	1964	図書サービス	
区分	評価者	所管課長	存廃判断	可	NPO協働	可
	***		***		***	
対象	区民43万 区内在学・在勤者及び隣接区市住民は利用登録が可能					
事務事業意図	図書館の充実した図書資料やデータベース、インターネットを活用し、区民が自らの生涯学習や生活活動のために必要な情報を自由に入手できる。					
事務事業手段	<p>平成17年度開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現中央図書館（葛飾図書館）を金町駅南口再開発事業地内に移転・整備し、資料の収集やレファレンスなどを行います。また、センター的機能の充実を図るため、地区図書館や学校図書館との連携を進めます。 ・区民の多様なニーズに応えられるよう、開館時間の延長やITサービスの拡大を進めるとともに、運営を効率化します。 					
根拠法令	図書館法					
現状と課題	現状の老朽化した施設では、バリアフリーやIT化の対応にも限界があり、“いつでも・どこでも・たれでも”自由に学べる課題解決型図書館としての機能を十分に果たしきれない。					
成果・活動指標	<p>成果1：実施設計の完成率 成果2：葛飾図書館の年間図書貸出冊数（万冊）21年度からは新中央図書館貸出数 活動1：懇談会の実施回数 活動2：PTの開催回数</p>					
目標達成状況	成果指標1 [%]	予定	平成17年度 100.00	平成18年度 100.00	平成19年度 100.00	
		実績	100.00	100.00		
	成果指標2 [万冊]	予定	53.00	54.00	56.00	
		実績	56.00	56.00		
	活動指標1 [回]	予定	9.00	9.00	9.00	
		実績	9.00	8.00		
	活動指標2 [回]	予定	20.00	20.00	20.00	
		実績	20.00	15.00		
	トータルコスト (千円)	予定		23,120	133,037	
		実績	39,068	21,665		
総合評価	継続。図書館をより効果的に利用していただくために、資料の充実とIT化を図り、区民の生涯学習や生活のために必要な情報を自由に入手できる施設に整備していく必要がある。					
事業評価	事業の必要性	はい。図書館は、住民の身近にある学習や生活文化活動を支援する極めて重要な社会教育施設であるため、区が実施すべき事業である。				
	民間活用	実施可能。区の方針や要望を示し調整しながら、設計・建築は民間の専門事業者へ委託して行っている。ただし、方針や、運営方法の検討については区の施策の根幹となるものであるため、区が主体となって行うべきものである。				
	成果向上余地	はい。建設途上での成果向上は認められないが、事業そのものが区民への図書館サービスの拡大として大きな成果を持つものである。				
	経費削減余地	はい。民間の競争性を高めることで、建築コストを抑えることが可能である。				

コスト分析表

年 度 平成19年度

所 属 28220000

事務事業 196410

教育委員会 葛飾図書館

図書館建設（新中央図書館の建設）

事業期間 平成17年度 ~ 平成19年度

(単位：千円)

		NO	平成17年度	平成18年度	平成19年度			
予 定	財源内訳	国庫支出金	(1)		0	0		
		都道府県支出金	(2)		0	0		
		地方債	(3)		0	0		
		その他	(4)		0	0		
		一般財源	(5)		20,960	129,957		
	直接費	事業費	(6)		80	92,117		
	職員人件費	人件費	(7)		20,880	37,840		
		再雇用職員分	(8)		0	0		
		(職員数：賦課)	(9)		2.40	4.40		
		(職員数：配賦)	(10)					
		職員数合計(9)+(10)	(11)		2.40	4.40		
	調整額	間接費	(12)		0	0		
		(加算)減価償却費	(13)		0	0		
		(加算)金利	(14)		0	0		
		(加算)退職給与引当	(15)		2,160	3,080		
		(控除)コスト対象外	(16)		0	0		
		(控除)雑収入	(17)		0	0		
	調整額計 (13)+(14)+(15)-(16)-(17)	(18)		2,160	3,080			
	トータルコスト (6)+(7)+(8)+(12)+(18)	(19)		23,120	133,037			
実 績	財源内訳	国庫支出金	(20)	0	0			
		都道府県支出金	(21)	0	0			
		地方債	(22)	0	0			
		その他	(23)	0	0			
		一般財源	(24)	39,068	19,985			
	直接費	事業費	(25)	39,068	65			
	職員人件費	人件費	(26)	0	19,920			
		再雇用職員分	(27)	0	0			
		(職員数：賦課)	(28)	0.00	2.40			
		(職員数：配賦)	(29)					
		職員数合計(28)+(29)	(30)	0.00	2.40			
	調整額	間接費	(31)	0	0			
		(加算)減価償却費	(32)	0	0			
		(加算)金利	(33)	0	0			
		(加算)退職給与引当	(34)	0	1,680			
		(控除)コスト対象外	(35)	0	0			
		(控除)雑収入	(36)	0	0			
	調整額計 (32)+(33)+(34)-(35)-(36)	(37)	0	1,680				
	トータルコスト (25)+(26)+(27)+(31)+(37)	(38)	39,068	21,665				

平成19年度 事務事業評価表

所属 28220000

教育委員会 葛飾図書館

事務事業	196411 図書館業務委託（葛飾図書館カウンター業務）						
	事業区分	経常事業	施策体系	1964	図書サービス		
区分	評価者	所管課長	存廃判断		NPO協働		
	***		***		***		
対象	区民43万 区内在学・在勤者及び隣接区市住民は利用登録が可能						
事務事業意図	<ul style="list-style-type: none"> ・快適で、利便性のある図書館施設をさらに利用しやすくするために、月曜休館を開館とした。 ・学習や生活に必要な資料や、情報、豊かな余暇を過ごすための図書資料等を、区民誰もが自由に入手できるよう図書館サービスを行う。 						
事務事業手段	昭和24年度事業開始（18より 図書、雑誌、新聞等購入・視聴覚資料購入・図書等貸出を統合） ・葛飾図書館での資料の貸出・返却・配架・書架整理・雑誌受入れ・予約者への連絡等を委託する。						
根拠法令	図書館法、葛飾図書館設置条例						
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・現状では、単年度契約のため受託業者が毎年変わる事が予想される。それにより、毎年受託業者への指導が必要になる。 						
成果・活動指標	成果1：貸出冊数 成果2：来館者数 活動1：開館日数 活動2：蔵書数						
目標達成状況			平成18年度	平成19年度			
	成果指標1 [冊]	予定		650,000.00			
		実績	640,968.00				
	成果指標2 [人]	予定		430,000.00			
		実績	429,025.00				
	活動指標1 [日]	予定		343.00			
		実績	344.00				
	活動指標2 [冊]	予定		302,000.00			
		実績	301,472.00				
	トータルコスト (千円)	予定		45,710			
実績		43,560					
総合評価	継続。月曜開館をした葛飾図書館では、限られた人件費の中ではカウンター委託を行い円滑な貸し出し返却業務を行う必要がある。						
事業評価	事業の必要性	はい。図書館は、住民の身近にある学習や生活文化活動を支援するため極めて重要な社会教育施設である。開館日数を増やすためには、カウンター委託にせざるうえない。					
	民間活用	実施済。既に葛飾図書館のカウンター委託は行っている。					
	成果向上余地	どちらもいえない。単年度契約のため、翌年度同じ業者が請け負う保証はない。新しい業者になった場合、カウンター業務をスムーズにこなせるようになるには、数ヶ月を要するため契約内容の検討が必要と思われる。					
	経費削減余地	はい。正規所職員で行うより、経費節減になる。					

コスト分析表

年 度 平成19年度

所 属 28220000

事務事業 196411

教育委員会 葛飾図書館

図書館業務委託（葛飾図書館カウンター業務）

事業期間 平成18年度 ~ 平成19年度

(単位：千円)

		NO	平成18年度	平成19年度			
予 定	財源内訳	国庫支出金	(1)		0		
		都道府県支出金	(2)		0		
		地方債	(3)		0		
		その他	(4)		0		
		一般財源	(5)		45,360		
	直接費	事業費	(6)		41,060		
	職員人件費	人件費	(7)		4,300		
		再雇用職員分	(8)		0		
		(職員数：賦課)	(9)		0.50		
		(職員数：配賦)	(10)		0.00		
		職員数合計(9)+(10)	(11)		0.50		
	調整額	間接費	(12)		0		
		(加算)減価償却費	(13)		0		
		(加算)金利	(14)		0		
		(加算)退職給与引当	(15)		350		
		(控除)コスト対象外	(16)		0		
		(控除)雑収入	(17)		0		
	調整額計 (13)+(14)+(15)-(16)-(17)	(18)		350			
	トータルコスト (6)+(7)+(8)+(12)+(18)	(19)		45,710			
実 績	財源内訳	国庫支出金	(20)	0			
		都道府県支出金	(21)	0			
		地方債	(22)	0			
		その他	(23)	0			
		一般財源	(24)	43,210			
	直接費	事業費	(25)	39,060			
	職員人件費	人件費	(26)	4,150			
		再雇用職員分	(27)	0			
		(職員数：賦課)	(28)	0.50			
		(職員数：配賦)	(29)				
		職員数合計(28)+(29)	(30)	0.50			
	調整額	間接費	(31)	0			
		(加算)減価償却費	(32)	0			
		(加算)金利	(33)	0			
		(加算)退職給与引当	(34)	350			
		(控除)コスト対象外	(35)	0			
		(控除)雑収入	(36)	0			
	調整額計 (32)+(33)+(34)-(35)-(36)	(37)	350				
	トータルコスト (25)+(26)+(27)+(31)+(37)	(38)	43,560				

平成19年度 事務事業評価表

所属 28220000

教育委員会 葛飾図書館

事務事業	196412 図書資料等提供					
	事業区分	経常事業	施策体系	1964	図書サービス	
区分	評価者	所管課長	存廃判断		NPO協働	
	***		***		***	
対象	区民43万 区内在学・在勤者及び隣接区市住民は利用登録が可能					
事務事業意図	<ul style="list-style-type: none"> ・快適で、利便性の高い図書館施設を維持し、区民の読書活動を始めとする生涯学習環境を整備する。 ・学習や生活に必要な資料や情報、豊かな余暇を過ごすための図書資料等を、区民誰もが自由に入手できるよう図書館サービスを行う。 					
事務事業手段	<p>昭和24年度事業開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館資料(図書・雑誌・新聞・CD・DVD・ビデオ・カセット・デージー等)の収集・保存・閲覧・貸出 ・相互貸借サービス 都内、区内の図書館から相互貸借サービスを行っている。(男女平等推進センターと連携し、オンライン化と相互貸借を行っている。) ・レファレンスサービス(調べものに必要な資料の紹介や、資料検索を支援する) 					
根拠法令	図書館法・葛飾図書館設置条例					
現状と課題	学習や生活に必要な資料や情報を入手できる生涯学習施設として重要な役割を果たしてきた。今後もIT(情報技術)の進歩、経済、産業構造の変化、少子高齢社会の進展などにより、区民のライフスタイルやニーズは多様化しており、様々な層の利用者に応じた図書館サービスを充実していく必要がある。					
成果・活動指標	<p>成果1：年間貸出数(全資料)</p> <p>成果2：区民ひとり当たりの蔵書数 蔵書数(全資料)÷43万、目標：21年度2.8</p> <p>活動1：蔵書(全資料)</p> <p>活動2：年間受入数(全資料)</p>					
目標達成状況	成果指標1 [冊]	予定		3,000,000.00		
		実績	2,951,702.00			
	成果指標2 [冊]	予定		2.80		
		実績	2.64			
	活動指標1 [冊]	予定		1,150,000.00		
		実績	1,130,005.00			
	活動指標2 [冊]	予定		87,000.00		
		実績	86,037.00			
	トータルコスト (千円)	予定		595,621		
		実績	647,583			
総合評価	継続。図書館は、子どもから高齢者、障害者を含む全ての区民が利用できる重要な生涯学習施設であるため、誰でもが気軽に利用しやすい施設とし、IT化を推進し、サービスの向上や運営方法の見直しを図りながら事務事業を継続していく必要がある。					
事業評価	事業の必要性	はい。図書館は、住民の身近にある学習や生活文化活動を支援する極めて重要な生涯学習施設である。区が実施すべき事業である。				
	民間活用	実施済。葛飾図書館のカウンター業務は委託済。地域館においては、非常勤化を進めている。				
	成果向上余地	はい。区民のライフスタイルやニーズを踏まえ、様々な層の利用者に応じた資料の提供等を行う。				
	経費削減余地	いいえ。様々な層の利用者に対応するためには、資料費の増額が必要である。				

コスト分析表

年 度 平成19年度

所 属 28220000

事務事業 196412

教育委員会 葛飾図書館

図書資料等提供

事業期間 平成18年度 ~ 平成19年度

(単位：千円)

		NO	平成18年度	平成19年度			
予 定	財源内訳	国庫支出金	(1)		0		
		都道府県支出金	(2)		0		
		地方債	(3)		0		
		その他	(4)		0		
		一般財源	(5)		577,981		
	直接費	事業費	(6)		131,363		
	職員人件費	人件費	(7)		216,720		
		再雇用職員分	(8)		0		
		(職員数：賦課)	(9)		25.20		
		(職員数：配賦)	(10)		0.00		
		職員数合計(9)+(10)	(11)		25.20		
	調整額	間接費	(12)		229,898		
		(加算)減価償却費	(13)		0		
		(加算)金利	(14)		0		
		(加算)退職給与引当	(15)		17,640		
		(控除)コスト対象外	(16)		0		
		(控除)雑収入	(17)		0		
	調整額計 (13)+(14)+(15)-(16)-(17)	(18)			17,640		
	トータルコスト (6)+(7)+(8)+(12)+(18)	(19)			595,621		
実 績	財源内訳	国庫支出金	(20)	0			
		都道府県支出金	(21)	0			
		地方債	(22)	0			
		その他	(23)	0			
		一般財源	(24)	621,543			
	直接費	事業費	(25)	129,864			
	職員人件費	人件費	(26)	308,760			
		再雇用職員分	(27)	0			
		(職員数：賦課)	(28)	37.20			
		(職員数：配賦)	(29)				
		職員数合計(28)+(29)	(30)	37.20			
	調整額	間接費	(31)	182,919			
		(加算)減価償却費	(32)	0			
		(加算)金利	(33)	0			
		(加算)退職給与引当	(34)	26,040			
		(控除)コスト対象外	(35)	0			
		(控除)雑収入	(36)	0			
	調整額計 (32)+(33)+(34)-(35)-(36)	(37)		26,040			
	トータルコスト (25)+(26)+(27)+(31)+(37)	(38)		647,583			

平成19年度 事務事業評価表

所属 28220000

教育委員会 葛飾図書館

事務事業	196413 子ども読書活動推進					
	事業区分	経常事業	施策体系	1964	図書サービス	
区分	評価者	所管課長	存廃判断		NPO協働	
	***		***		***	
対象	区内の乳幼児から中学生まで					
事務事業意図	「葛飾区子ども読書活動推進計画」に基づき、保健所や学校、児童館と連携しながら、子どもたちが本に親しみをもち、自主的に読書活動を行えるようにする。					
事務事業手段	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタート事業 保健所等で行う3・4ヶ月健診時に絵本の読み聞かせを行い、ブックスタートパック（絵本1冊・イラストアドバイス集・図書リスト・児童館案内等）を手渡す。 ・交換車学校配送 調べ学習用の図書の配送や各学級で行っている学級文庫への図書の配送を行う。 					
根拠法令	図書館法					
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタート事業では、全箇所での読み聞かせが行えずにいるので、全箇所での読み聞かせが行えるよう関係部署と協議していく。 ・交換車学校配送では、YA（中高高生向け図書）の団体パック（中学校）や学期貸しを実施するなど、読書の普及及び学校の利便性に添えていく必要がある。 					
成果・活動指標	成果1：小学校4年生の平均読書数 成果2：中学校3年生の平均読書数 活動1：ブックスタートパック手渡し数 活動2：交換車学校配送					
目標達成状況			平成18年度	平成19年度		
	成果指標1 [冊]	予定		9.00		
		実績	8.80			
	成果指標2 [冊]	予定		3.00		
		実績	2.40			
	活動指標1 [人]	予定		3,600.00		
		実績	3,723.00			
	活動指標2 [回]	予定		340.00		
		実績	338.00			
	トータルコスト (千円)	予定		26,684		
実績		25,307				
総合評価	継続。ブックスタート事業は、子育て中の親御さんとお子さんに絵本を手渡し、絵本を通して親子間にゆったりとした時間が過ごせることができるよう説明する。また、交換車学校配送事業は、いまだ充実していない学校図書室を補完する学級文庫を支援している。					
事業評価	事業の必要性	はい。子育て中の親御さんに絵本を介して親子間でゆったりとした時間が過ごせることを伝えていくことは重要である。また、学校配送事業はPTAの負担軽減にもなり必要である。				
	民間活用	実施済。ブックスタート事業では、絵本読みのボランティアを活用している。交換車配送事業の車の運行は委託である。				
	成果向上余地	はい。ブックスタート事業において乳幼児の図書館への登録及び利用が期待できる。配送事業においては、父兄の負担を軽減し、学校での読書活動推進が期待できる。				
	経費削減余地	あまりない。配送事業では、利用が増加すれば委託料が増大する。				

コスト分析表

年 度 平成19年度

所 属 28220000

事務事業 196413

教育委員会 葛飾図書館

子ども読書活動推進

事業期間 平成18年度 ~ 平成19年度

(単位：千円)

		NO	平成18年度	平成19年度			
予 定	財源内訳	国庫支出金	(1)		0		
		都道府県支出金	(2)		0		
		地方債	(3)		0		
		その他	(4)		0		
		一般財源	(5)		24,934		
	直接費	事業費	(6)		3,434		
	職員人件費	人件費	(7)		21,500		
		再雇用職員分	(8)		0		
		(職員数：賦課)	(9)		2.50		
		(職員数：配賦)	(10)		0.00		
		職員数合計(9)+(10)	(11)		2.50		
	調整額	間接費	(12)		0		
		(加算)減価償却費	(13)		0		
		(加算)金利	(14)		0		
		(加算)退職給与引当	(15)		1,750		
		(控除)コスト対象外	(16)		0		
		(控除)雑収入	(17)		0		
	調整額計 (13)+(14)+(15)-(16)-(17)	(18)			1,750		
	トータルコスト (6)+(7)+(8)+(12)+(18)	(19)			26,684		
実 績	財源内訳	国庫支出金	(20)	0			
		都道府県支出金	(21)	0			
		地方債	(22)	0			
		その他	(23)	0			
		一般財源	(24)	23,557			
	直接費	事業費	(25)	2,807			
	職員人件費	人件費	(26)	20,750			
		再雇用職員分	(27)	0			
		(職員数：賦課)	(28)	2.50			
		(職員数：配賦)	(29)				
		職員数合計(28)+(29)	(30)	2.50			
	調整額	間接費	(31)	0			
		(加算)減価償却費	(32)	0			
		(加算)金利	(33)	0			
		(加算)退職給与引当	(34)	1,750			
		(控除)コスト対象外	(35)	0			
		(控除)雑収入	(36)	0			
	調整額計 (32)+(33)+(34)-(35)-(36)	(37)	1,750				
	トータルコスト (25)+(26)+(27)+(31)+(37)	(38)	25,307				